

平成28年度後期 自己評価結果の考察と改善策

○実施概要

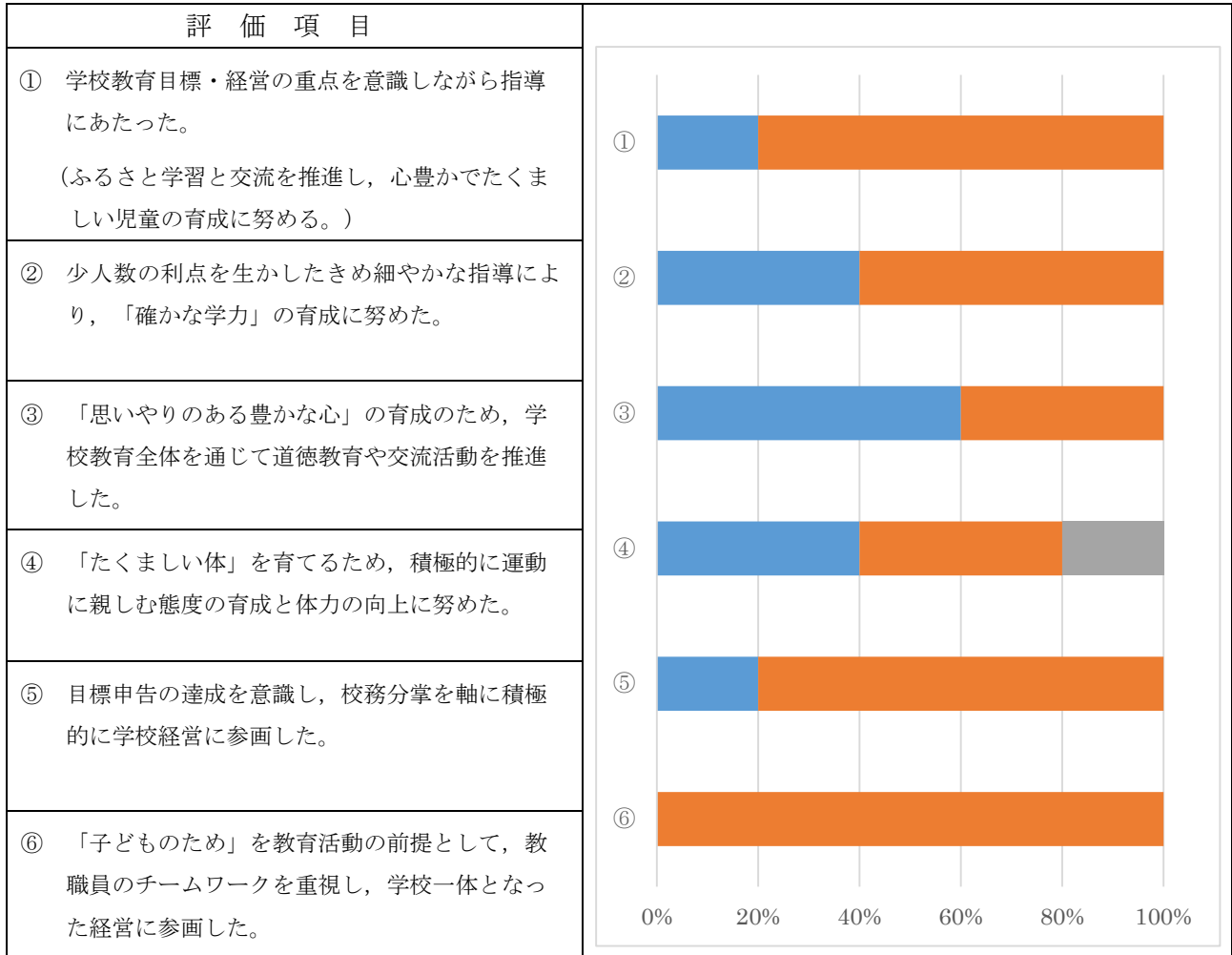
1 実施時期 平成28年12月

2 実施人数 5人

3 評価 《4》 よくできている ■ 《3》 ほぼできている ■
 《2》 あまりできていない ■ 《1》 できていない ■

I 学校運営

(1) 自己評価



(2) 自由記述

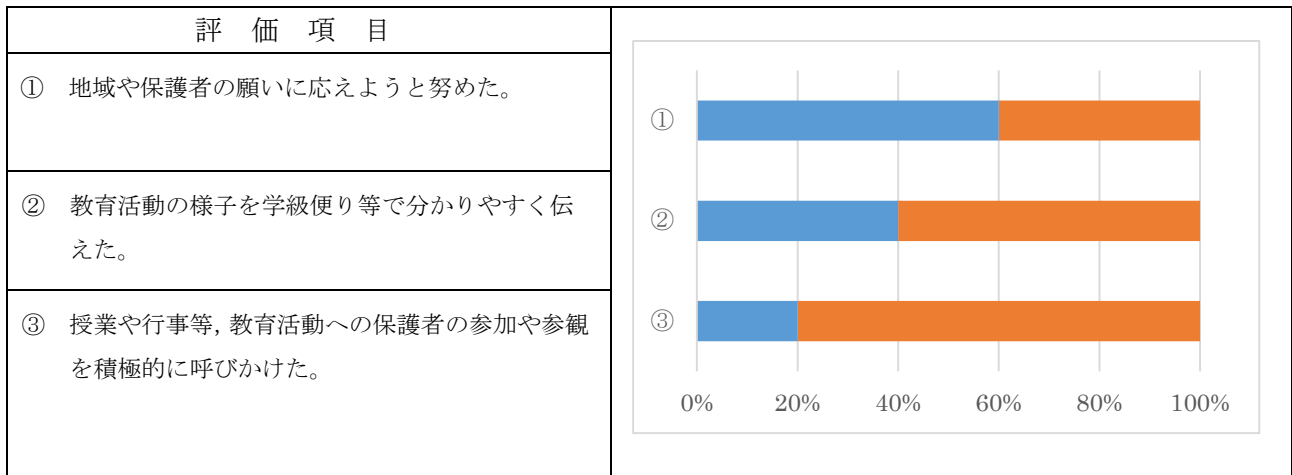
- ・単元のまとめで特に算数の「ちばっ子チャレンジ100」などを活用した指導を行った。他の教科でも活用し、力を高めていきたい。
- ・国語の読む力に課題があるため、読書の推進をさらに進めていきたい。
- ・道徳の授業時間を確保して、思いやりのある豊かな心の育成を行った。
- ・職員で日々の様子などの話をする時間を意識的に作り、情報を共有できるようにする。
- ・応用問題を用意したり、児童の苦手を中心に行ったりして、少人数の良さを生かして学力向上に努めた。
- ・3学期の交流でも、4月からスタートが円滑にいくように、児童のサポートを行っていく。
- ・職員のチームワークには、共通理解が必要だったので、職員会議だけではなく、その他にも時間を作っていたのでよかった。
- ・子どもたちが入りやすい雰囲気と話しやすい先生であるような保健室経営ができるように努めた。
- ・子どもの意思や思いを尊重し、救急処置に当たった。

(3) 考察と改善策

- ・3学期も授業の工夫・改善の継続及び「ちばっ子チャレンジ100」, 応用問題集(文章問題)等のプリントを活用し, 基礎的な知識・理解の定着と思考力・判断力の伸長に努める。
- ・学校行事や交流等に関して, 共通理解を図りながら, 進めていく。
- ・残りの期間も指導を充実させ, よい卒業, 閉校ができるようみんなで協力し, 全力で取り組んでいく。

II 開かれた学校

(1) 自己評価



(2) 自由記述

- ・学級便りで行事に対する子どもたちの様子や感想を伝えることができた。
- ・行事等への呼びかけを連絡帳などを通して, 知らせていく。
- ・連絡帳で学校生活や児童の様子をこまめに伝えるとともに, 保護者の方の考えを聞きながら, 日々の指導に努めた。
- ・毎日連絡帳に書いて日々の様子を伝えていた。
- ・写真掲示物を毎月変えて, 子どもたちが見て学んだり, 楽しんだりできるように作成した。
- ・保健掲示物があまり変えられなかったので, 3学期は月の保健目標に準じて作成できるよう改善する。

(3) 考察と改善策

- ・3学期も学校からの情報提供を行い, 家庭や地域と連携して学校運営を進めていく。
- ・家庭や地域の要望もよく聞きながら進めていく。
- ・閉校に関しては教育委員会や地域の方々と連携して進めていく。

Ⅲ 教育課程・教科領域指導

(1) 自己評価

評価項目	達成率
① 学習中、子どもを励まし賞賛や承認をし、一人一人の子どもに熱心に指導した。	100%
② 1時間1時間を大切に、目標を踏まえ、ユニバーサルデザインの考えを生かしたわかる授業を実践した。	100%
③ 教材・教具などの工夫改善を図ったり、一人一人に応じたきめ細かな指導を実践したりした。	80%
④ いじめ防止教育を全教育活動で行った。	80%
⑤ 総合的な学習の時間（生活科）では、ふるさと学習や交流を踏まえた学習活動を推進した。	80%
⑥ 思考力・表現力・判断力を高める指導を行った。	100%
⑦ 全教育活動を通して、キャリア教育の趣旨を意識した指導に努めた。	100%
⑧ 適切な評価・評定を生かし、個別指導を行った。	60%
⑨ 日頃の教材研究、研修、校内研究会等に積極的に取り組み、教えるプロとしての意識を高め指導力向上を図った。	100%
⑩ 家庭学習の習慣が身につくように指導を継続した。（自学ノートの活用、10分×学年）	60%

(2) 自由記述

<ul style="list-style-type: none"> ・ミニテストなどで習熟度を測り、その児童にあったプリントを作成・用意し、取り組ませた。一学期の学習内容についても課題が残っていたので、学習している单元だけでなく、今までの学習内容をもう一度振り返る時間をとる。 ・話し合い活動を多く取り入れたが、一部の児童に発言が偏ってしまった。話し合いを円滑にするような声かけをしていく。また、話し合ったことをノートにメモさせるようにして、聞く力も高めていきたい。 ・家庭学習の習慣化のため、毎日チェックを行っているが、まだ定着していない児童がいるので、継続していく。 ・ふるさと学習については、閉校を意識して全校で取り組んだ。日めくりカレンダーを通して、猿田小の多くの人とのかかわりを再認識できたことはよかったが、さらに活動を深めることができなかった。 ・自学ノートは毎日の提出とコメントを行い、まとめる力も向上した。

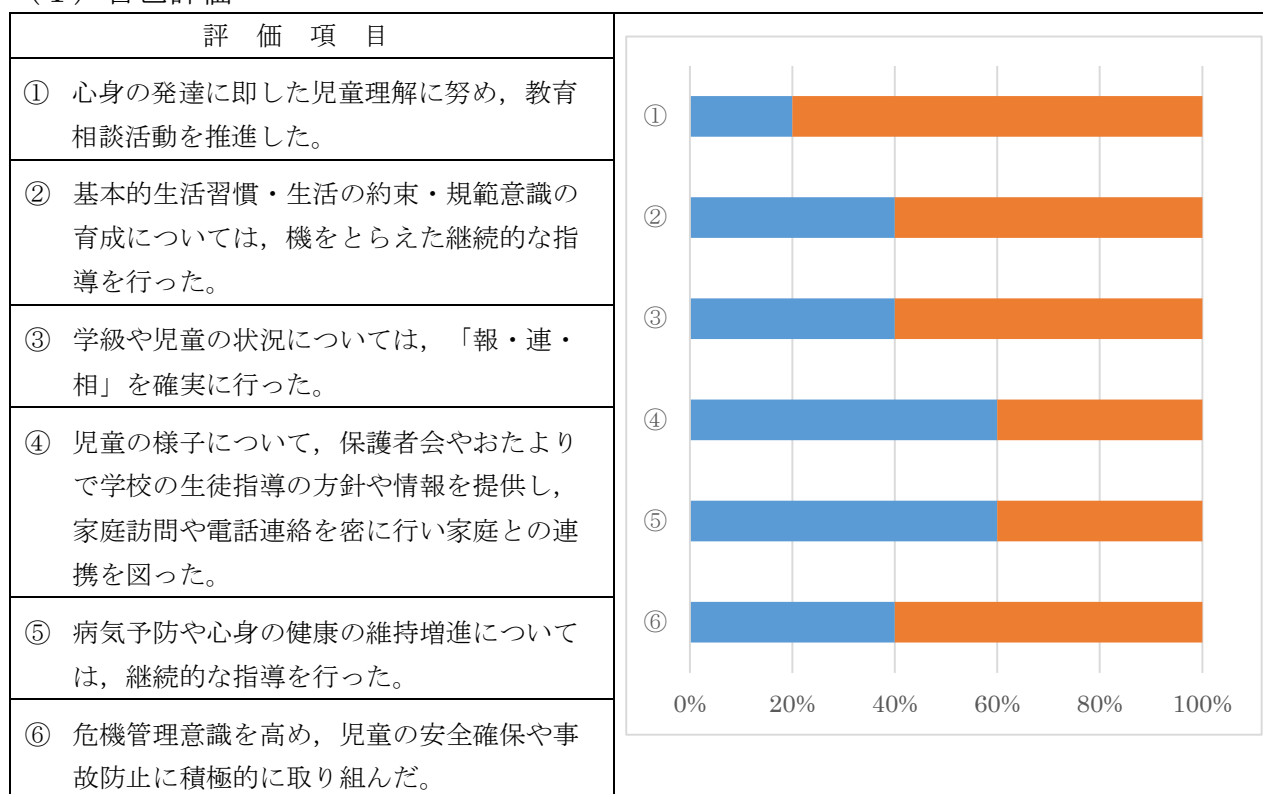
- ・国語、外国語等、教材や方法も工夫し、一人でも行える授業をするように努めた。
- ・自学ノートの活用を行い、習慣が身に付くよう指導した。

(3) 考察と改善策

- ・残りの期間もわかりやすい授業を行うために、ユニバーサルデザインの授業を心がけ教材や指導方法を研究していく。
- ・思考力・判断力・表現力を伸ばす授業を基礎的な知識が定着した後に行い、自分の課題や考えを書いたり、話したりする機会を増やす。
- ・家庭学習を工夫し、子ども達が進んで取り組むようにして家庭学習の習慣化を確かなものにする。
- ・基礎テストや県標準学力検査等を活用して、児童の実態把握をし、個々の能力向上に努める。

IV 生徒指導・学級指導・健康安全指導

(1) 自己評価



(2) 自由記述

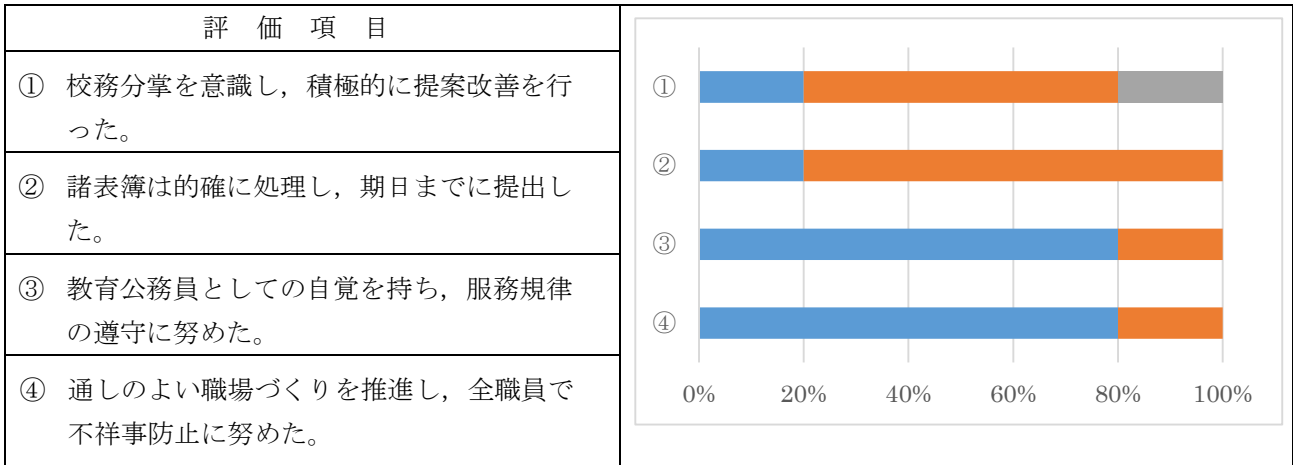
- ・基本的な生活習慣などについて、これからも継続的な指導を行っていく必要がある。
- ・児童の体調の悪さが続く場合には話を聞くなどして、少しでも回復に向かうように努力したい。
- ・学級や児童の状況について、各クラスの担任と報連相を確実にを行った。
- ・子どもの訴える症状から起こりうる疾病を常に念頭に置いて対応した。
- ・保健室来室児童に対して、完治するまで継続的に処置や助言を行った。

(3) 考察と改善策

- ・挨拶は以前よりよくなってきたので、これかも基本的な生活習慣は継続して指導していく。
- ・いじめはいつどこで起こるかかわからないので、これからも最後まで子ども達の言動を観察したり、毎月アンケートを取ったり、教育相談を行ったりして気を付けていく。
- ・インフルエンザやノロウイルス等にかからないように日常の手洗い・うがいを徹底する。

V 校務分掌・服務

(1) 自己評価



(2) 自由記述

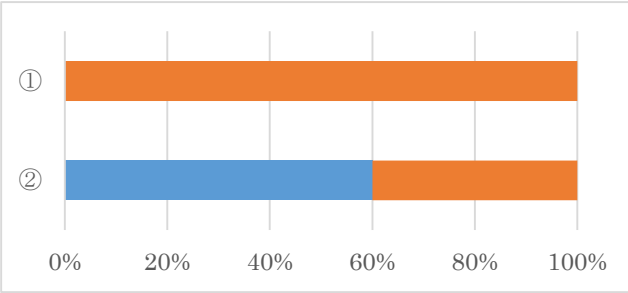
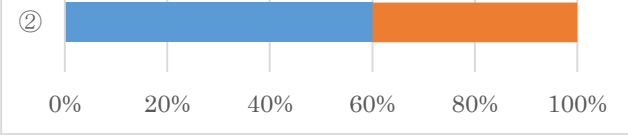
- ・校務分掌の提案では、今年度の学校事情を考慮した視点で前年度の提案を見直し、反映させた。
- ・研究主任としての提案、改善等が十分に行えなかった。
- ・不祥事防止につながるようモラルアップ研修の内容が充実していた。
- ・自分のやるべき仕事を計画的に責任を持って行えるように努めた。
- ・提出期限のあるものは、早めに取りかかるように努めた。

(3) 考察と改善策

- ・残りの期間も不祥事が起こらないようにモラルアップ研修を行ったり、情報の提供を行ったりする。
- ・自分の行動を日々反省していく。
- ・風通しのよい職場づくりに努める。

VI 行事等

(1) 自己評価

評価項目	
① 行事の見直しを図りながら教育内容の充実に努めた。	① 
② 行事の目的を達成するよう努めた。	② 

(2) 自由記述

- ・ 行事を通して児童が一つでも学びがあるように意識して指導にあたった。
- ・ 行事においては自分の役割を理解し、行事を成功させようと計画や準備等に携われた。

(3) 考察と改善策

- ・ それぞれの学校行事の目的をしっかり共通理解して全職員で取り組むように努める。
- ・ 卒業式・閉校式への準備と役割分担を明確にし、計画的に進めていく。

その他

- ・ 児童の健康維持に努めるために、ほけんだよりを定期的に作成することができた。
また、11月頃から児童トイレを清掃する際は、感染性胃腸炎予防の対応として、トイレの消毒やトイレを清潔に保つなど、環境衛生にも留意した。